

## 筆者の主張に対し反論する(否定的な)文章を書く

## つまずきの実態

～こんな生徒の姿が見られませんか?～

筆者の主張に対し、根拠を明らかにして反論する(否定的な)文章を書くことができない。

「君は『最後の晚餐』を知っているか」(光村図書)を読み、筆者の主張に反論する意見を書く

「最後の晚餐」を今まではルネサンス時代の名画の中の一つとして見ていた。だがこの論説文を読み、この絵が単純な絵ではないことがわかった。見る人の心をつかんでほさない「最後の晚餐」、この絵に隠されたトリック、レオナルドの天才的な発想とその才能に私は驚嘆した。この絵はただ美しいだけではなかったのだ。やはりレオナルドはとてつもない天才で巨匠といえるだろう。(生徒作文)

文章の内容に衝撃を受けたにしてもまた筆者の文章が説得力のある文章であったにしても、全面的に受け入れてしまっている。

## 実践の概要

単元名

論理をとらえて

「君は『最後の晚餐』を知っているか」光村図書

目標 筆者の主張に対し、根拠や理由を明らかにして、反論する文章を書く。

内容 ・筆者の主張に対して納得できない点、同意できない点を考え、メモを取る。

・メモをもとに班で話し合う。 ※テーマを絞り、内容の深まる話し合いにする。

・下書き、推敲、清書する。

・班で交流する。

## 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容(単元名)		つまずきの実態
第3学年	慣用句・ことわざ・故事成語	論理の展開を工夫して、筋道の通った文章を書くことができない。
第2学年	論理をとらえて	筆者の主張に対し、根拠を明らかにして反論する(否定的な)文章を書くことができない。
第1学年	いにしえの心にふれる	根拠や理由を明らかにして、筋道の通った文章を書くことができない。

## 単元末の目指す姿

- ・根拠を明らかにしながら、筆者の主張に対し反論する(否定的な)文章を書くことができるようになる。
- ・評価の観点に沿って、書いた文章を客観的に推敲したり評価したりできるようになる。

## つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

筆者の主張に対して納得できない点、同意できない点をグループで話し合わせる。

活動のねらい▶ ・反論する（否定的な意見を述べる）ためには、説得力のあるわかりやすい根拠が必要であることを理解する。

### ここがポイント

- ・班活動で納得できない点・同意できない点を話し合うことにより、班のメンバーのさまざまな視点や考え方を知ることができ、考えをより深めることができる。
- ※この活動では、反論に焦点を当てているが、批判的なものの見方や考え方は、根拠立てて共感することも含まれることを確認する。

## 観点を立てて話し合うことにより、内容を整理する



芸術は永遠じゃないよ。

ダ・ヴィンチはこの絵を永遠に残そうと思っていたのかな。

「理屈ではなくまず衝撃がやってくる。」

- 衝撃が来なかったら名画じゃないのか。
- 普通の人にはきっと衝撃なんか来ないよ。

「芸術は永遠なのだ。」

- 絵の具が剥げ落ちて永遠はないよね。
- 永遠に残したいと思わないからフレスコ技法ではなくテンペラ技法で描いたんだと思うな。

## つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

普段文章を書く際に、筆者（作者）の主張に対して肯定的な意見や感想を書くだけでなく、批判的（否定的）な意見・感想を書くことも意識させる。

活動のねらい▶ ・様々な角度から分析したり、批評したりする力を育てる。

### ここがポイント

- ・3年生では、小見出しの効果について評価させたり、様々な観点を立て、対象を分析・批評したりすることが求められる。その際に求められるのが「批判的なものの見方・考え方」である。そこで、筆者の主張に対して共感するだけでなく、あえて反論する考えや根拠を挙げさせることにより、「批判的（否定的）なもの見方・考え方」を育てる。
- ・指導にあたっては、観点に沿って根拠を話し合わせることに重点を置き、単なる思いつきや感情による反論にならないよう留意したい。また、話し合いの後は180字から200字程度の文章にまとめさせ、相互評価させたい。

## 関連する学習

- \* メロスの言動について批判的に書く。(第2学年「走れメロス」)
- \* 筆者の考えた「小見出し」は適切かどうか批評する。(第3学年「月の起源を探る」)
- \* 新聞広告を批評する。(第3学年「批評文を書く」)